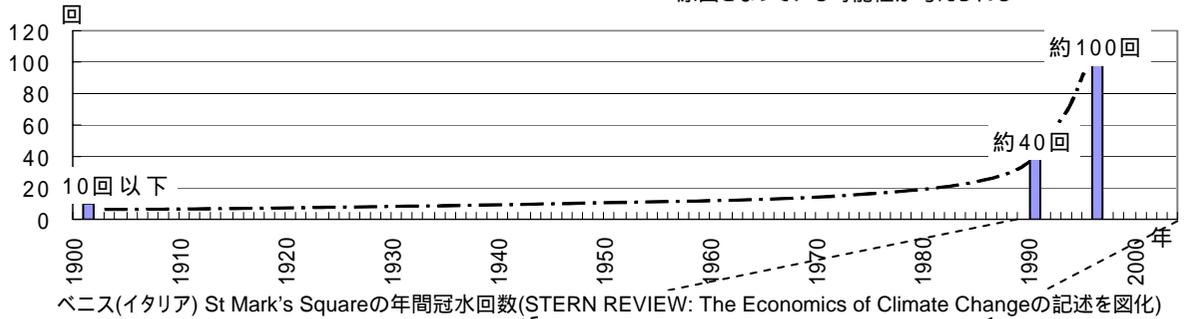


海面上昇に伴う影響：

ゼロメートル地帯の拡大、高潮による浸水リスクの増大

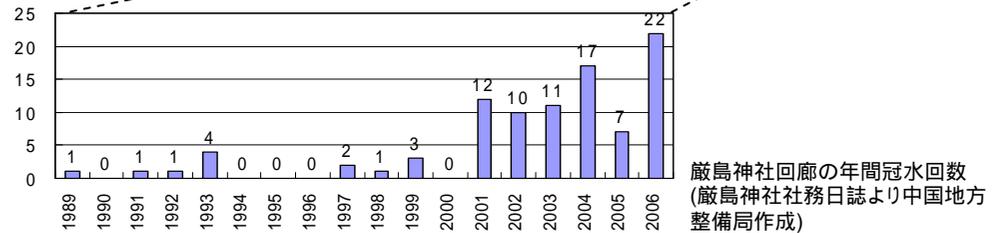
高潮による浸水リスクの増大

- ベニスSt Mark's Squareの冠水回数は、地盤沈下や気候変動の影響により、20世紀はじめには年間10回以下であったが、1990年までに年間40回ぐらい、**1996年には年間100回**にもなった。
- 2006年には250回/年との情報もある



現状において、地球温暖化の影響であるか明確ではないが、原因となっている可能性が考えられる

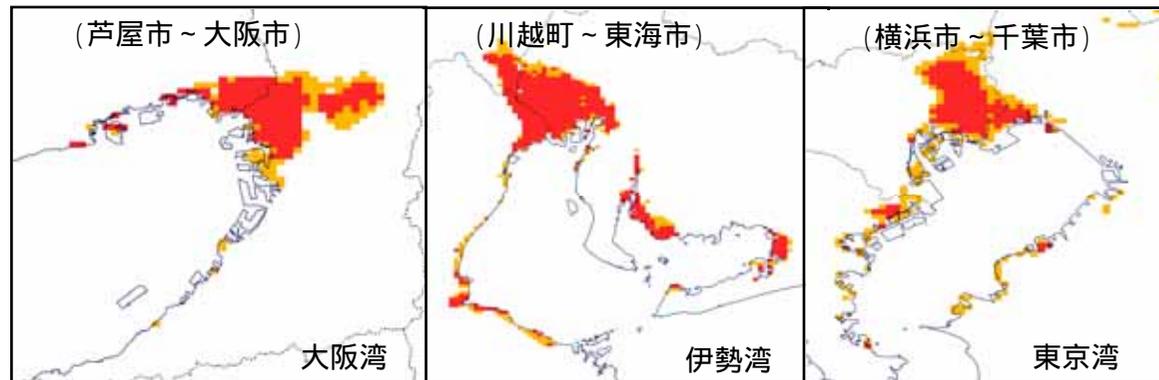
厳島神社回廊の冠水回数は、1990年代は年間5回以下であったが、2000年代には年間10回程度、また**2006年には年間22回**も発生しており、なお冠水回数は増加傾向にある。



三大湾(東京湾、伊勢湾、大阪湾)のゼロメートル地帯が拡大

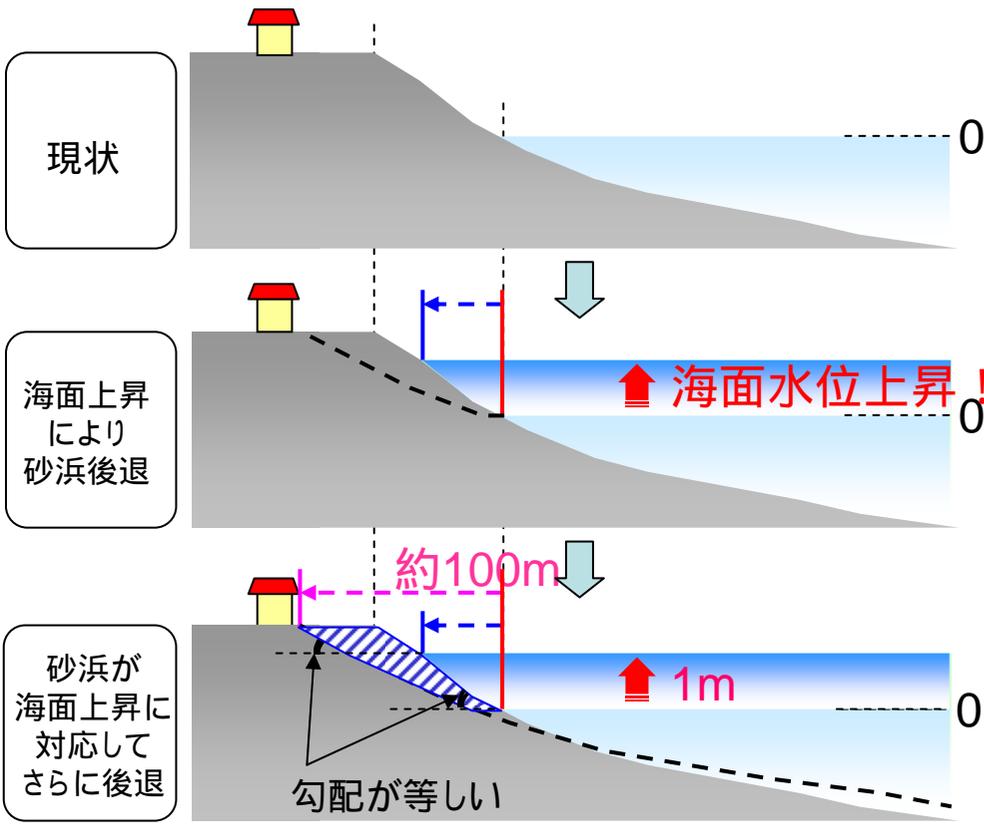
高潮による水害リスクを有するエリアが拡大する

	現状	海面上昇後	倍率
面積(km ²)	559	861	1.5
人口(万人)	388	576	1.5



国土数値情報をもとに河川局で作成
3次メッシュ(1km×1km)の標高情報が潮位を下回るものを図示。面積、人口の集計は3次メッシュデータにより行っている
河川・湖沼等の水面の面積については含まない
海面が1m上昇した場合の面積、人口の60%分を増分として計算

海面上昇に伴う影響：砂浜の後退・消失



マーシャル諸島のマジェロ環礁で起きている海岸侵食。
(2001.5, Masaaki Nakajima)

(出典)：全国地球温暖化防止活動推進センター

海面上昇 (m)	0.3	0.65	1
平均後退距離	30.55	65.4	101.04
侵食面積率	56.6	81.7	90.3

三村信男・幾世橋慎・井上馨子：「砂浜に対する海面上昇の影響評価」より河川局作成

海面が上昇すると砂浜が安定勾配に移行しようとするため水位上昇分以上に汀線が後退。
1m海面が上昇すると砂浜は約100m後退し、我が国の**砂浜の約90%が侵食**されるおそれ